

中経 論壇

経営事務局長 萩原一夫
NPOクラブ



組み始めたこととして評価でき
る。

SDGsという言葉を入
が話題にするようになってき
ている。企業経営者からも
「今年はずっとSDGsに力
を入れます」との発言を聞く
ことが多くなった。国連が定
めた「持続可能な開発目標」
である。「貧困をなくそう」「気
候変動に具体的な対策を」
など17の目標を、2030年
までに達成することを掲げて
いる。企業も利益追求の他、
地球環境保全と社会の持続可
能性などの社会的責任に取り
かかっているのか。果たして

安全な社会をわれわれの子孫に

SDGsと原子力発電

いのだろうか。
欧州に目を転じる
と、EUは2050
年までに温室効果ガ
スの排出量正味ゼロ
を達成するために、
どの企業が持続可能
かつ脱炭素に資する
のかを見極める新し
いツール「タクソ
ミー・ツール」に注
目している。タクソ
ミーとは、何がグ
リーンな経済活動か
を分類する基準とな
るもので、EUに拠
点を置く機関投資家
は、その基準に従っ
て運用状況を開示す
るよう求められる。
タクソミーは「欧
州グリーン・リカバ
リーの中核」と位置
付けられており、エ
ネルギー部門では、太陽光、
風力、水力、地熱による発電、
送配電、電力の貯蔵、地域暖
房などがリストアップされて
いるが、原子力発電は含まれ
ていない。

原子炉から出る放射性廃棄
物が、環境保護目標に反する
ためである。ドイツのメルケ
ル政権は、2022年末での
原発廃止、2038年までの
脱石炭の方針を決定し、ドイ
ツの最大電力会社は、20
30年には再生エネルギーに
よる発電量を65%にまで引き
上げる方針を掲げ、時価総額
を倍増させている。

EUの原発への対応と比
べるとき、原子力発電をエネ
ルギー政策の選択肢に加えて
いる日本のSDGsへの取り組
みに違和感を覚える。205
0年には、原発と使用済み核
燃料から脱却し、太陽光、洋
上風力、小水力などグリーン
なエネルギーによる安全な社
会を、われわれの子孫に残し
たいと思う。